

## 発達的气になるこどもの 家庭療育講座 ～第4回～



子どものこころの診療拠点病院推進室 ペアレントサポート研究会 陽なた

## 本日のメニュー

- ① ホームワーク披露会  
ほめてほめてほめまろうシート
- ② 学習会  
『整え上手になろう』『伝え上手になろう』  
～子どもにとってわかりやすい教え方のコツ～
- ③ グループワーク  
講座で取組む目標の決定

## 整え上手・伝え上手 になろう！

子どもにとってわかりやすい  
教え方のコツ

## 整え上手になろう！

前回までの講義で、ほめる関わりの大切さをお話してきました。また、ほめる行動を探すときのコツについてもご紹介しました。

ここからは、ちょっと発想を転換して、子どものよい行動を引き出す方法について考えていきます。

今回は、環境を整備すること、ちょっとした工夫についてのアイデアを紹介します。

## 整えるとは？

子どもが落ち着ける、学びやすい環境を作るとは非常に重要です。

ちょっとした手がかりがあることで、できなかったことができるようになることもあります。

※事前の準備・環境調整や、モチベーションを高める工夫、実際にやってみるときに達成しやすくする工夫が大切です。

## 整え上手の工夫

- ① 事前に予定を視覚的に示す。
- ② 指示やルール、すべきことを視覚的に示す。
- ③ 気になるものや苦手なものを取り除いておく。
- ④ 本人の好きなものや活動を取り入れる。
- ⑤ 適切な行動を始めやすいように手がかりを目立たせる。
- ⑥ 適切な行動を始めやすいように道具などを工夫する。



#### ④ 本人の好きなものや活動を取り入れる



#### ⑤ 適切な行動を始めやすいように手がかりを目立たせる

##### ベスト・ポジションを探そう！

手がかりを置くのにもっとも効果的な場所はどこですか？手がかりを見るときに行動をイメージしてみてください。



#### ⑥ 適切な行動を始めやすいように道具などを工夫する

##### 「ひとりでできた！」を増やすために

子どもが自分ひとりでできるが増えるように、いつもの道具に少し工夫を加えてみましょう。



おしっこの時はあげてしてね

よくできました◎

#### ⑥ 適切な行動を始めやすいように道具などを工夫する



テーブル拭き



カルピス用コップ



なわとびの工夫

#### 14 ひも結びにチャレンジ

お弁当のナフキン、エプロンのひも、靴子のひも

○完成したものや、作業の手順や様子が分かるビデオなどを観せて、見通しを立てられるようにしましょう。  
○となりで一緒にしながら、細かく具体的に説明しましょう。



【ひも結び練習用具】

#### まとめ：整え上手

- ① 環境を整えることで、子どもが落ち着けたり、学びやすくなったりする。
- ② 視覚的に示したり、余分なものを取り除いたりすることは効果的である。
- ③ 子どもが興味を持てたり、使いやすいように道具を工夫することも有効である。
- ④ 環境の整え方に決まったルールはないので、一人ひとりに合わせてオーダーメイドで考える。

## 問い じゃましているのは何？

📖 ワークブック 9 ページ



お手伝いをスムーズにするために直すところ・よい部分・工夫できる部分を考えてみましょう



## 答え じゃましているのは何？



アイデアは思いつく限りたくさん挙げるのがコツです。実現可能かどうかはその後で検討します。

回答例

- ・ テレビを消す。
- ・ 本や雑誌をしまう。
- ・ 台所でさせる。
- ・ 鉢を支えてあげる。
- ・ 電動ミルを使わせる。

など



## 問い 環境を整えよう



実施可能かどうかは気にせず、たくさん考えてください。



## 伝え上手になろう！

前回の講義では、子どものよい行動を引き出す方法として、周囲の環境を整える工夫についてご紹介しました。

実は、声かけの仕方をちょっと見直すだけでも、子どもが指示を理解しやすくなり、よい行動を行います。

今回は、子どもにわかりやすい、伝わりやすい声かけについて考えていきましょう。

## わかりやすい声かけ

声かけや指示がうまく伝わらないときの  
チェックポイント ※チェックしてみよう

- 声かけを聞いていないのでは？
- 声かけが理解できていないのでは？
- 声かけは理解できるけれど、興味がなかったり、やりたくないのでは？

※伝わらない理由によって、違った対応が考えられます。

## ☑ 声かけを聞いていない

注意を引きつけてから

- ① タイミングをはかる。  
何かに夢中になっているときや、パニックの最中は声が届きにくい。



- ② 注意を引いてから話す。  
「今からお話します」「〇〇ちゃん」と言ったり、子どもの肩を叩いてから話す。



- ③ 目を引くようなものを用意する。  
絵カードや文字など視覚的な手がかりを使う。

## ✓ 声かけが理解できない

- ① 具体的な言葉を使ってズバツと言う。
- ② 前もって伝えておく。
- ③ 短い指示を一つずつ伝える。
- ④ **子どもの理解に合わせて**、指さし・視覚シンボル・写真・絵などを使う。



## ✓ 興味がない、やりたくない

- ① 指示に従った後の結果(ほめ方やごほうび)を工夫する。
- ② 子どもが「できる」と思えるレベル(量や難易度)の課題にする。
- ③ 必ず成功できるように手助けする。  
失敗がいやで活動に取組めない場合がある。
- ④ 課題を工夫して興味ひきつける。  
声かけの仕方だけでなく課題  
そのものにも工夫を加える。



## 興味ややる気を高める工夫

### ぼくが・わたしが決める！

いくつかの**選択肢を用意し**、**子ども自身に好きな活動やものを選んで**もらいます。自分で選ぶと、同じ活動やものでも、よりやる気が出たり、もらったときにより嬉しかったりします。



## 約束の上手な伝え方

- ① 簡単で、すぐに守れる約束から始める。
- ② 途中で確認するなど、守れるよう手助けする。  
例：「お店のエスカレーターで遊ばない」という約束を①家を出る前、②お店の駐車場、③店内に入るときに確認する。
- ③ 守れて当たり前ではなく、守れたらいいことがあるようにする。  
例：静かに電車に乗れたら、駅でスタンプが押せる。
- ④ 「約束」する内容を子どもと相談して決める。

## まとめ：伝え上手

- ① 声かけや指示がうまく伝わらないときは、聞いていない、理解できない、興味がないなどの場合がある。
- ② 声かけをする前、声かけの仕方、声かけの内容、声かけに従った後の対応を工夫してみる。
- ③ 約束は、「約束が守れた」という成功体験を積み重ねることから始める。

## 問い 理解しやすい声かけ

📖 ワークブック 10 ページ

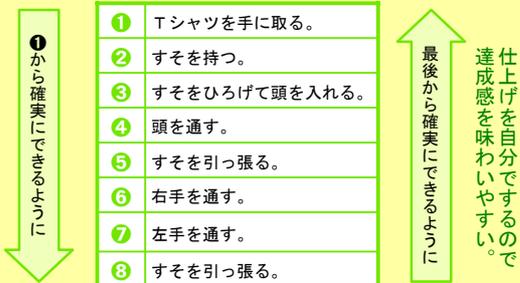
それぞれのお子さんに合わせた声かけを考えてみましょう。

- ① 帰宅後、玄関で。  
「靴はちゃんと脱ぎなさい！」
- ② お風呂あがりに体をふかず、きょうだいと遊んでいる。  
「体が濡れているじゃない！何やってるの！」



## 教え方の順番

出来具合を見ながら教える順番を選びましょう。



## ピンポイント・トレーニング

上級者むけですが、一部分だけ集中的に教えて、できるようになったところをつなぎあわせるという教え方もあります。最終的に全部できるようにします。



## 行動の後の工夫

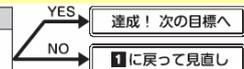
9 できたときのほめ方やかわり方

ほめ上手のコツを思い出してください。

- 直後にほめる。
- 子どもの喜ぶ方法でほめる。
- 声かけ以外のほめ方も工夫する(タッチ、握手、好きなものや活動、トークンなど)。

## 達成基準

10 達成基準



- どうなれば目標を達成できたと言えるかを決めておきましょう。例) 80%できた日が一週間に4日 など
- 一度できたからといって、次から必ずできるとは限りません。繰り返し練習する必要があります。
- 達成できなかったときは①に戻り、手続きを順に見直していきます。

## 記録の取り方

ワークブック 13 ページ

一人ですべて		誰かついでできた		できなかった		取り組めなかった	
お子さんの行動	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21
① パジャマを手取る	○	-	○	○	○	○	○
② すそを持つ	○	-	△	△	△	△	△
③ すそをひろげて頭をこむ	△	-	△	○	△	○	○

うまくできた		まあまあうまくできた		うまくできなかった			
あなたの行動	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21
上手に指示できましたか?	△		○	△	○	○	○
困難時に上手に援助できましたか?	☆		○	☆	△	△	○
上手にほめることができましたか?	△		△	△	△	○	○

## どうして記録するの?

### 記録をとることのメリット

- ① てつづきがうまくいっているかどうかの確認ができる。
- ② つまづいている部分がわかりやすくなるので、てつづきを修正するときに参考にできる。

記録をとることで、より客観的な視点で対応を振り返ることができます。

## たとえば・・・

一人できたら○ 補助つきでできた△ できなかった△ 振り幅がなかった△

お子さんの行動	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
① パジャマを手取る	○	-	○	○	○	○	○
② ぞろを持つ	○	-	○	○	○	○	○
③ ぞろをひいて鎖をつつこむ	△	-	△	△	○	○	○
④ 鎖を通す	△	-	△	△	△	○	△
⑤ ぞろを少しおろす	○	-	○	○	○	○	○
⑥ フックのかけかたについているのを確認	△	-	△	△	△	△	△
⑦ 左手を通す	△	-	○	△	△	△	△
⑧ 右手を通す	△	-	△	△	○	○	○
⑨ ぞろを引っぱる	○	-	○	○	○	○	○
⑩							

④と⑥がなかなか上達しないな。てつづきを変えてみようかな・・・



## 実施にあたって

### 共通理解が肝心です

- 対応する人によって言うことが違うと、子どもは混乱してしまいます。
- 今できる当面の目標を家族や先生などその子にかかわる人の間で共通理解し、同じ対応をすることが成功への鍵になります。

## うまくいかないとき

### 振り返りのポイント

- ① 行動の後のプラスの対応を行っていますか。
- ② たくさんほめていますか。
- ③ 気負わずリラックスして教えられていますか。
- ④ ちょうどいいハードルの（少しがんばったらできる）目標を設定していますか。
- ⑤ 教え方はお子さんに合っていますか。

## 次回のお知らせ ホームワーク

次回：8月26日（水）です。

ホームワーク：

今日考えたてつづきで実践し、結果を記録してみてください。